ISSN 1341-4046

埋文やまがた

2009年１月31日
第42号

上の寺遺跡（寒河江市）

下大曽根遺跡（鮭川村）

滝ノ沢山遺跡（真室川町）

川前２遺跡（山形市）

財団法人　山形県埋蔵文化財センター
YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH
〒999-3161　山形県上山市弁天二丁目15番1号　TEL 023-672-5301㈹　FAX 023-672-5586
ホームページ：http://www.yamagatamaibun.or.jp
メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

2008年度 文化財普及事業

今年度当センターでは、文化財普及啓蒙事業の一環として、「発掘調査説明会」「出前授業」「外部展示」「職場体験」「センター遺跡見学」「体験学習」を実施しました。

【発掘調査説明会】

	市町村	遺　跡　名	開催日	遺跡種別
1	真室川町	滝ノ沢山遺跡	7 月15日	集落跡
2	鮭 川 村	下大曽根遺跡	9 月 4 日	集落跡
3	寒河江市	上の寺遺跡	9 月 6 日	寺院跡
4	山 形 市	山形城三の丸跡（春日町）	10月 2 日	城館跡
5	山 形 市	山形城三の丸跡（旅篭町）	10月25日	城館跡
6	山 形 市	川前2遺跡（4次）	10月27日	集落跡

【出前授業】

地区		実　施　校	期　日	対象・内容
庄内	1	鶴岡市立長沼小学校	4 月22日	6年社会
	2	鶴岡市立朝暘小学校	5 月 2 日	6年社会
	3	酒田市立西荒瀬小学校	5 月16日	6年社会
	4	鶴岡市立大網小学校	6 月 4 日	6年社会
	5	酒田市立十坂小学校	6 月23日	6年社会
	6	酒田市立東平田小学校	6 月26日	6年社会
最上	7	鮭川町立牛潜小学校	4 月28日	6年社会
	8	舟形町立長沢小学校	5 月 8 日	6年社会
	9	舟形町まちづくり課（仙台市立五橋中学校）	5 月16日	縄文体験
	10	新庄市立新庄中学校	6 月18日	6年社会
	11	新庄市八向中学校	12月24日	セミナー
村山	12	山形市立宮浦小学校	4 月15日	6年社会
	13	上山市立宮生小学校	4 月19日	6年社会
	14	河北町立北谷地小学校	4 月21日	6年社会
	15	村山市立大倉小学校	4 月23日	6年社会
	16	寒河江市立醍醐小学校	4 月24日	6年社会
	17	村山市立楯岡小学校	4 月30日	6年社会
	18	河北町立溝延小学校	5 月 1 日	6年社会
	19	東根市立東根小学校	5 月 7 日	6年社会
	20	村山市立袖崎小学校	5 月 9 日	6年社会
	21	寒河江市立白岩小学校	5 月12日	6年社会
	22	山形市立第二小学校	5 月13日	6年社会
	23	大石田町立大石田小学校	5 月14日	6年社会
	24	東根市立東根中部小学校	5 月15日	6年社会
	25	村山市立富並小学校	5 月19日	6年社会
	26	中山町立豊田小学校	5 月20日	6年社会
	27	寒河江市立寒河江小学校	5 月22日	6年社会
	28	山形市立みはらしの丘小学校	6 月 1 日	6年親子行事
	29	大石田町立亀井田小学校	6 月10日	6年社会
	30	寒河江市立寒河江中部小学校	6 月11日	6年社会
	31	寒河江市立南部小学校	6 月13日	6年社会
	32	上山市東公民館	6 月19日	縄文体験
	33	寒河江市立幸生小学校	6 月20日	6年社会
	34	尾花沢市立上柳小学校	6 月24日	6年社会
	35	東根市立神町中学校	9 月 9 日	1年選択
	36	みはらしの丘フェスティバル	9 月20日	縄文体験
	37	山形市立第一中学校	9 月30日	1年選択社会
	38	山辺町立作谷沢小・中学校	11月 2 日	文化祭
置賜	39	川西町立大塚小学校	4 月10日	6年社会
	40	南陽市立宮内小学校	4 月14日	6年社会
	41	米沢市立興譲小学校	4 月16日	6年社会
	42	米沢市立西部小学校	4 月17日	6年社会
	43	米沢市立南原小学校	4 月25日	6年社会
	44	米沢市立松川小学校	5 月23日	6年社会
	45	白鷹町荒砥公民館	8 月 5 日	縄文体験

【外部展示】

平成21年1月9日現在

うきたむ風土記の丘考古資料館
期日　6月1日～9月24日
「蘇る原始･古代の置賜像」
入場者　3,089人

山形空港
期日　9月6日～9月23日
「大ケヤキの下にねむる遺跡　小田島城跡」
入場者　151人

庄内空港
期日　10月22日～11月4日
「発掘された庄内の歴史」～弥生･古墳時代編～
入場者　155人

県立博物館
期日　12月6日～12月21日
「埋もれていた米ものがたり」
入場者　695人

東北芸術工科大学（予定）
期日　3月1日～4月20日
会場　保存修復センター3階
「山形の1000年前～掘る＋残す」

【職場体験】

	実　施　校	期　間
1	山形市立蔵王第一中学校	4 日間
2	山形県立上山高等養護学校	10日間
3	上山市内中学校	5 日間
4	山形県立神室産業高等学校	1 日間
5	山形市立第十小学校	1 日間
6	寒河江市立陵南中学校	3 日間
7	県立山形養護学校	5 日間

【センター・遺跡見学】

	団　体　名	期　日
1	山形県立山形聾学校　小学部6年	5 月13日
2	上山市立南小学校　6年	5 月19日
3	山形市立第一中学校（1年）	7 月 9 日
4	真室川町立安楽城小学校（5・6年）	7 月10日
5	真室川町立真室川中学校　1年～3年	7 月15日
6	舟形町堀内小学校(1･2年)＋保護者	7 月31日
7	中山町公民館（女性学級）	10月17日
8	滝ノ沢山遺跡発掘作業員	12月 2 日
9	東北芸術工科大学工科大学	12月12日

【体験学習】

	団　体　名	期　日
1	寒河江市教育委員会　少年少女郷土史講座	7 月10日
2	中山町　歴史体験教室	8 月 1 日
3	中山町教育委員会　歴史体験教室	8 月 2 日
4	山形市中学校教育研究会　社会部会	10月12日
5	上山市教育研究会　地域学習部会	11月26日

2008年度 発掘調査トピックス

戦国時代から近世へ ～寺院の変～　寒河江市　上の寺遺跡

大型の柱穴列です。左奥に見えるのが戦国時代末頃に埋った溝です。

上の寺遺跡は、国指定重要文化財の薬師如来や十二神将で有名な慈恩寺の近くに位置しています。

今回の調査では戦国時代や江戸時代初期のものと考えられる遺構・遺物が見つかりました。

戦国時代の遺構として注目されるのは戦国時代末頃に埋められたと見られる溝です。この溝からは石塔が出土しており、溝が埋められる際に周辺で石塔を捨てるような大きな変化があったことが考えられます。近くからは大型の柱が建つ何らかの施設が見つかりました。

慈恩寺に近い調査区では石組井戸や石敷きの道路などが見つかりました。これらの遺構は、当時この地を治めていた最上氏が慈恩寺本堂や三重塔等を整備した時期と同じ江戸時代初期のものです。

調査の結果、戦国時代末頃から江戸時代初期にかけて山腹一帯にあった寺院が現在の慈恩寺本堂周辺に整備されたことが明らかになって来ました。

石を敷いた道路です。長さが約6m、幅1mの範囲に小石が敷き詰められています。

石組みの井戸です。直径約5mの掘り方中央に直径1mの円形に石が積まれています。深さは約3mあります。

縄文時代の遺物です。左上の石器は石錐で穴を開けるために使用しました。

戦国時代末頃に埋った溝から出土した遺物です。（13～16世紀）

石組井戸から出土した遺物です。この遺物から井戸の年代が分かりました。

川沿いに営まれた古代のムラ

山形市・中山町　川前２遺跡

川前２遺跡は1,600～1,700年前の古墳時代の初め頃と、1,200～1,300年前の奈良・平安時代の集落跡です。洪水が頻発した場所に営まれた集落ですが、水に浸かりにくい高台に、何度も家を建て替えていた様子が明らかになりました。

今回の調査では、竪穴住居跡32棟、溝跡７条、土坑17基、畑跡、河跡、掘り込みを伴わない土器集中区などが検出されました。住居跡は調査区中央の微高地に重複して構築されており、居住域から離れたやや低い区域には、畑跡と考えられる並行した浅い溝跡が多数検出されました。

川前２遺跡が位置する須川下流域は、最上川の合流点が近く、白川や立谷川も合流しており、水運の便に適した地域でした。しかし増水時には、洪水の危険に常にさらされていました。冠水した後も同じ場所に居住が繰り返されたのは、水運の利便性といった地の利があったからと考えられます。

調査区南側の全景写真です。細長い溝状の白線は古墳時代の畑跡です。

調査区中央の微高地で、住居跡が集中しています。

古墳時代の住居跡が重複しています。いずれも壁に沿って細い溝が巡らされ、４本の柱穴が認められました。

古墳時代の住居跡から、完形の小型壺が出土しました。

夏休み期間中、中山町と寒河江市内の小学生が発掘調査を体験しました。

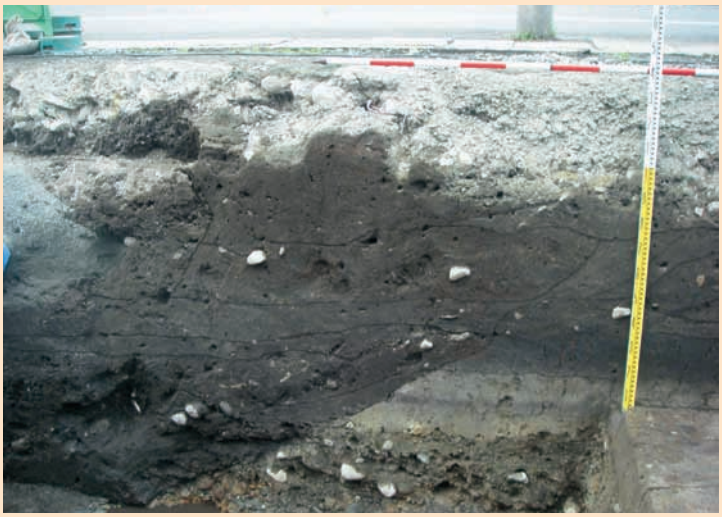
街の下に眠る広大な三の丸

山形市　山形城三の丸跡（春日町）

山形城三の丸跡は、山形城跡（二の丸、国指定史跡）を取り囲む、東西約1,600m、南北約1,800mの広大な遺跡です。山形城は、文禄・慶長年間（1592～1615）に、最上義光によって改築され、本丸・二の丸・三の丸と三重の堀を構えた城郭・城下町が建設されました。

調査した場所は、霞城公園の南西部にあたる山形市春日町で、三の丸に11ヶ所ある出入口の一つである飯塚口の近くに位置します。

今年度の調査では、江戸時代に造られたと見られる、三の丸の堀跡を確認することができました。堀に堆積した土の底からは、近世の陶磁器や木製品などの、多量の遺物も出土しました。



陶磁器や木製品が多く見つかった層には、多くの石もありました。

発掘された堀の様子です。
三の丸の西側の堀跡としては初めての発掘調査です。

堀から出土した遺物

赤瓦

黒瓦

茶碗

曲物

下駄

漆器（椀）

特集　山形城三の丸跡発掘調査

山形城は、14世紀後半に斯波兼頼（しばかねより）が築いたと言われ、山形市のほぼ中央にあり、現在、二の丸は霞城公園（かじょうこうえん）として親しまれています。

これまで当センターでは、山形城三の丸に関わる発掘を４回行っておりますが、今年はNHKの大河ドラマ「天地人」の放送もあり、最上氏の居城である山形城も脚光を浴びることになりそうです。

城南一丁目遺跡

平成10年にJR山形駅西口に隣接する霞城セントラルビル建設に先立って調査した遺跡です。

調査では、川跡や石組みの井戸跡、土坑などから陶磁器や“かわらけ”などの生活用品が数多く見つかりました。中世末から近世にかけての城下町の人々の暮らしぶりの一端を知ることができる資料です。

調査区（西側から撮影）

調査風景

かわらけ出土状況

山形城三の丸跡（H14～16年度調査）

調査区の一部からふいごの羽口、坩堝（るつぼ）、砥石（といし）、鉄滓（てつかす）などが見つかっています。

■：城南一丁目遺跡　平成10年度の調査区
■：山形城三の丸跡　平成14～16年度の調査区
■：山形城三の丸跡（112号・都市計画）　平成20年度調査区

山形城三の丸跡（国道112号）

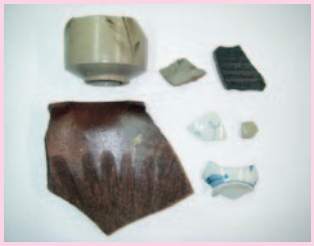
山形城三の丸に伴う掘立柱建物や土坑など数多くの遺構が見つかりました。また、奈良・平安時代にさかのぼる遺構と遺物からは、当時の集落跡の存在も明らかになりました。古くから人々の生活の場として利用されていたことがわかります。

調査風景

石組遺構

山形城三の丸跡（都市計画街路　春日町）

この調査では、三の丸の堀跡を確認することができました。発掘した地点は掘の一部ですが、深さ約1.2m、幅約８ｍ（現在確認できた幅）でした。堀跡からは近世の陶磁器や木製品などが見つかっています。



堀から見つかった陶磁器

堀から見つかった瓦

やまがた埋文祭り 2008

山形県埋蔵文化財センター参観デー

埋蔵文化財センターの仕事をまるごとお知らせしようという企画「やまがた埋文祭り2008～山形県埋蔵文化財センター参観デー～」を実施しました。当センターを会場に実施するのは初めての試みでしたが、700人を超える方が来場し、センターの仕事や出土品を見学したり、土器や勾玉作りを体験したりして大盛況でした。山形県の遺跡を通して、歴史認識が深まればと願っています。

いらっしゃいませ

土器に記名する作業を体験

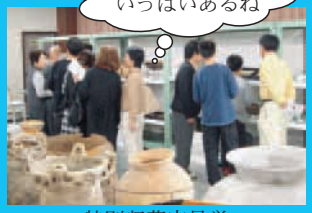
土器の接合体験

土器の形を書き写す実測体験

土器の模様を写し取る拓本体験

下叶水遺跡（小国町）の説明

遺跡パネルの展示会場



特別収蔵室見学

赤外線で見えない文字を見よう

縄文土器と一緒に記念写真

今年度発掘調査した７遺跡の速報会

やまがた埋文祭り2008
山形県埋蔵文化財センター参観デー

期　日：平成20年10月４日（土）・５日（日）
会　場：山形県埋蔵文化財センター
内　容：今年度発掘した７遺跡の調査速報会
：整理作業体験及び見学
注記体験・拓本体験・実測体験
保存処理・写真スタジオ・特別収蔵室・パネル展示・かかし展示
：考古学広場（勾玉・土器作り）
参加者：733人

勾玉を好きな色に染めて出来上がり

家族で仲良く土器作り

秘宝館

弥生土器

生石（おいし）2遺跡（酒田市）

縄目の紋様がある土器は縄文土器と呼び縄文時代のものと覚えている方もいるでしょう。一般的には間違いではないのですが、必ずしも土器と時代が一致しない場合もあります。

明治17年、東京の本郷弥生町（ほんごうやよいちょう）（現在の文京区）で縄目の紋様のある縄文土器とは違った土器が発見されました。その地名にちなんで弥生土器と名づけられました。

弥生土器は稲作農耕を営む人々の使用した土器です。弥生土器には米などの穀類（こくるい）を煮炊（にた）きする甕（かめ）、籾（もみ）などを貯蔵する壺（つぼ）、食物の盛りつけや儀礼などに使われる高坏（たかつき）などがあります。県内で弥生時代の最も早い時期の遺跡に酒田市生石２遺跡があります。この約2,000年前の土器は西日本の影響を受けた壺（つぼ）や甕（かめ）と共に、縄文時代の紋様・装飾などの影響を残した高坏（たかつき）・鉢（はち）などが見つかっています。米作りの始まった弥生時代の初めのころは、まだ縄文土器の名残のある土器が使われていたのです。つまり縄目の紋様がある弥生土器も存在するのです。

ある日のスナップ

— 木棺墓反転作業の様子 —

鶴岡市の行司免遺跡で発掘された木棺墓の保存処理作業のためクレーンで持ち上げ、天地を反転させているところです。

編集後記

今年度、初めてセンターで行った「埋文祭2008—埋蔵文化財センター参観デー」には多数のご来場をいただきありがとうございました。

来年度も楽しい企画を用意して開催しますのでお楽しみに。